### 介護保険制度の見返し、改善を求める著名 自建设基础 和 自建设基础 和 ・ はさるを得ない事業所も (実施)「家心した理報を加くりない」というすべないのかから いの他に指揮から使べるものもでいます。 よっ使用な配金が返り、接受は「一切でよのが、同時間による「介護の取りと行う。 大規則をしたらしています。また、他とで有難からすがによる相互振り、他し のり高田和に満知な人手を定め、也で、地面など地域の構造、小面の画質 かっています。 深刻な担い手不足 ○ 1. した 介護協議の引き上げ、人員配置指導の資産した付ない、開発の配与・労 物集件の容差と、大路な環境を実施してください。 利用店・保護等、最初等・金銭を引きるとともに、サービスの利 利用店・保護等、最初等・金銭を引きるとともに、サービスの利 利用をしている。企業なり推び選挙に保護される制度に改善してくた。 これほどまでいた株式者がありしいのは、 の機能が連絡して出ませたもの。 位くする おかれてきたからです。 の機能の大地な形式しがが必要です。 1 100 Fig. 日全日本民医連

### きいてください 私たちの仕事のこと

石川・やすらぎ福祉会 ヘルパーステーションやすらぎ 川上範子

## 事例

## 見聞きしていること私たちが日ごろ

気をくれたんやわ」今度は床に落ちた

かり。 聞きすることは考えさせられることば ル 西 まちづくりを目指し、 さを大切に、安心して住み続けられる た。 当 パ 南部にある特養ホ 「ステーションは九九年、 そのいくつかを聞いてください 利用者一人ひとりのその人ら が地域に出ています。 ームに併設され 毎日 一五人の 訪問で見 金 沢市 ま 0

ように動きません。 笑顔です。 Aさんは最近病状の進行で体が思う 朝早くから悪いね。 だけどいつも明る 見て、 お 流

むたむたねん。食べるだけ食べたけ ど片付けられんかった」そうい な病気になったんかね。きっと神様 :ら体が傾いてくるAさんをヘル があわてて支えます。 私が耐えられると思ってこの 一何でこん いな 病 パ

 介護ウエーブ、起こします ルパーも働き続けたい

を す。皆さんも協力してください 求める署名運動を始めて 全 一日本民医連は介護保険 の改善 11 ま

11

つも一緒に動いていたCさん、

最近

きをかけたりモップがけをしたり

を思いやる心。 ない気がします。 倒 も笑顔でと思うけど、 ミを拾おうと手を伸ばし、 n いかかったところを引き戻されます。 つも一生懸命なAさん。 出会いに感謝です。 病に向かう姿勢、 Aさんには勝て 私も 体が床に 他 0

ことを私たちは常に心に刻んで、 ないけれど、どうしても、 うが多いのではないのでしょうか。 我慢してサービスを頼んでいる人の りも病気や障害のためにやむを得ず で、 来てもらう人より、 者さんに接しなければと思いまし なければならない立場」 んでしてもらうこと」と「望んでは 言葉に私はショックを受けました。 ている人のほうがずっと幸せよ」 Bさんはまだ五〇代。 仕事は大変ね。 自分から望んで利用している人よ ヘルパー を利用している人の でもヘルパーさんに ヘルパーとして働 「ヘルパーさん の違い。 してもらわ その 利 望 崩 II

問

Cさん。 も話さないこともあるそうです。 ておられます。 して家で暮らせるんや」と、 腰痛で掃除機は持てませんが、 あ んたらが来てくれるから、 いつもヘルパ 独居のため丸一日誰 ーの訪問を待っ 要支援の こう は た

「福祉労働者の仕事をもっと評価し て」東京の集会でアピールを読んだ やすらぎホームの仲間

る。 ことを考えると、 して、 って上のほうの人は悪いことばっ ぽんたんになってくるし。 から引かれることばかり増えた。 元気がありません。 、行きたくなるわ。 当ステーションの四月利用者六六人 時 寂しいもんやよ。一人は… 一人でいると、うつうつとしてく 間 どんねんとね…どう思う?」。 の半分は社会情勢の話題です はようあっちの 「鼻くそほどの 頭はだんだんあ ほーかと 先の か 世 年 訪

0 11

ておられます。 中二九人 (約四 兀 % が 一人で暮ら

b らこそ、 酬改定など、ますます強められようと する給付制限と負担増。 の声を発信し続けたいと思います。 後期高齢者医療制度、 利用者と同じ目線で、 こんな時だか 来年の介護 現場 か

# ほっと介護